

クロアチア情勢

主な出来事

2016年10月

内政

- 2日、野党第1党社会民主党(SDP)中央選挙委員会は、11月19日に実施予定の同党党首選への立候補表明者9名(ピツラ現欧州議会議員、オストイッチ前内相、ミリエニッチ前司法相、ベルナルディッチSDPザグレブ支部長、ソボルSDP女性フォーラム会長、レアコビッチSDP国際部長、シュクリッチ党员、ハイドウコビッチSDPオシエク・バラニャ県支部長、ポロビナ党员)を発表。(上記候補者は、今後30日以内に立候補資格を得るため1000名以上の署名を提出しなければならない。)
- 7日、議会において、独立記念日(10月8日)25周年を記念したレセプション開催。
- 10日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、新政権立ち上げのための第2回協議を実施。議会過半数以上の議員署名を提出したプレンコビッチ・クロアチア民主同盟(HDZ)党首を首班指名し、新政府の組閣権限を付与。
- 14日、新議会の立ち上げのための第1回会合開催。新議長にペトロフ議員(MOST代表)が選出され、第9会期議会が発足。また、副議長にライネル前議長(HDZ所属)、ブルキッチ議員(HDZ副党首)、ヤンドロコビッチ議員(HDZ事務局長)、オパチッチ議員(SDP副党首)、ブルドリャク議員(人民党(HNS)党首)の5名が選出された。
- 19日、議会において、プレンコビッチ首相候補を首班とする新政府プログラム及び内閣閣僚人事が審議され、信任投票の結果、賛成91、反対45、棄権3となり、即日新政府が発足。
- 21日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、シュティール新副首相兼外務・欧州問題相と今後の外交政策の優先課題等につき意見交換。
- 27日、政府は閣議において、経済・社会評議会の代表6名(ダリッチ副首相兼経済相、コバチッチ副首相兼行政相、ムルガニッチ人口・家族・青年・社会政策相、マリッチ財務相、チョリッチ労働・年金システム相、バリシッチ科学・教育相)を任命。

外交

- 5日、コバチ外務・欧州問題相は、ブリュッセルで開催されたアフガニスタン支援会合に出席。クロアチアは今後もアフガニスタン支援を継続することを発表。(クロアチアは、現在までに約660万ユーロをアフガニスタン支援に拠出している。)

- 6日、コバチ外務・欧州問題相は、ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)のクロアチア系住民のための65件のプロジェクト(文化、教育・調査、保健に関するプロジェクト)に対し、2千万クーナ相当の支援を実施する合意書に署名。
- 9日、ペトロフ副首相及びコバチ外務・欧州問題相は、BHのストラツを訪問し、2日に同地で実施された地方選挙の最中に起こった選挙管理委員会委員に対する暴行事件(注: BH警察は、クロアチア系選挙管理委員会委員2名を暴行した容疑で、カプラン・ストラツ市長候補(ボシュニャク)を含む27名を起訴)を非難。
- 10日、スプリット(当国南部)において、ブリェビッチ国防相及びオレピッチ内相は、クロアチア当局と欧州国境・沿岸警備庁(旧欧州域外国境管理庁(Frontex))の共催する海洋安全保障と国境保護における協力に関する会合実施。
- 11-13日、グラバル＝キタロビッチ大統領が英国及びブリュッセルを訪問。英国においては、エリザベス2世英女王、メイ英首相、ファロン国防相(以上11日)、クラーク・ビジネス・エネルギー産業戦略相(12日)らと会談。ブリュッセルでは、ユンカー欧州委員会委員長、シュルツ欧州議会議長(以上12日)及びトウスク欧州理事会議長(13日)と会談した。
- 17日、コバチ外務・欧州問題相は、EU外相理事会出席のため、ルクセンブルクを訪問。
- 20-21日、プレンコビッチ首相は、首相就任後最初の欧州理事会首脳会合出席のため、ブリュッセルを訪問。
- 20-21日、スロベニア内務省によれば、同国はクロアチアとの国境(ブレガナーオブレジュエ及びマツェリーグルスコブリェ)に新たな鉄ワイヤーのフェンス建設を開始。今後、移民の大量流入に際し、同国境を閉鎖する旨発表。
- 23-25日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、アゼルバイジャンを公式訪問し、アリエフ・大統領、ラシザデ首相、アサドフ国会議長らと会談した(24日)。また、アゼルバイジャン・クロアチア・ビジネスフォーラムにクロアチア企業代表らと共に出席した(25日)。
- 26日、クルスティチェビッチ副首相兼国防相は、NATO国防相会合出席のため、ブリュッセルを訪問。同国防相は、NATOによるバルト3国への多国籍大隊派遣ミッションの下、2018年にリトアニア(独主導)にクロアチア軍1部隊を派遣する予定につき発言。
- 28-29日、プレンコビッチ首相は、就任後最初の外遊先としてBHを訪問(シュティール副首相兼外務・欧州問題相、プトコビッチ海事・運輸・インフラ相同行)。サラエボにおいて、ズビズディッチ BH閣僚評議会議長(首相)、イゼトベゴビッチ BH大統領評議会議長及びチョービッチ同メンバーらと会談(28日)。また、モスタルにおいて、チョービッチ BH大統領評議会メンバー主催の「クロアチア民族会議」関係者(BHのクロアチア系代表者)との会合に出席した(29日)。
- 28日、ニューヨークの国連総会において、国連人権理事会理事国選挙が実施され、クロアチアが史上初めて人権理事会理事国に当選。
- 31日、BH検察庁は、オラシエ(BH北部)において、10名の元クロアチア防衛評議会(HVO)メンバー(いずれもクロアチア系住民でBH及びクロアチアの二重国籍者)を戦争犯罪容疑で逮捕した旨発表。

経済

- 4日、オシエク市と地方交通公社(GPP)は、1億ユーロ相当の公共交通に用いられる河川船舶の整備・開発プロジェクトに着手した旨公表。
- 5日、世界銀行は今年のクロアチアの経済成長率予測を上方改定(1.9%→2.4%)し、来年の成長率を2.0%と予測。
- 5日、ホルバット中小企業大臣は、クロアチアにおける32の起業プロジェクトに対し、EU基金より1.6億クーナの資金が供与されることを発表した。これら32のプロジェクトは今後2年間で6.4億クーナ相当の投資を促進させることが期待されている。
- 17日、クロアチア中央銀行は今年のGDP成長率が2.3%を超えると予測。
- 24日、クロアチア鉄道インフラ会社(HZ Infrastruktura)は、欧州委員会とクリジェフツィ(Krizevci)からハンガリー国境までの路線補修及び第2路線の建設プロジェクトにつき、共同出資するとした合意書に契約した旨発表した。欧州委員会は、同プロジェクト総額3億ユーロのうち85%を出資する予定。同プロジェクトにより、同社は地中海回廊のザグレブ＝ブタペスト間ルート近代化を図る。
なお同社は7月、ドゥゴ・セロ＝クリジェフツィ間の路線補修及び第2路線の建設プロジェクト(プロジェクト総額2億ユーロ)に着手している。
- 25日、世界銀行が世界190カ国の投資環境を評価した報告書「Doing Business」においてクロアチアは43位(昨年40位)となった。

主要経済指標

(2016年月次データ, 対前年同期比(除く失業率), 政府統計局発表)

輸出総額 (8月)	輸入総額 (8月)	貿易赤字 (8月)	工業生産高 (9月)	インフレ率 (9月)	失業率(登録制) (9月)
+3.3% (580億クーナ, 77億ユーロ)	+3.6% (962億クーナ, 127億ユーロ)	+4.3% (381億クーナ, 50億ユーロ)	+1.9% (8月:2.5%)	-0.9% (8月:-1.5%)	13.1% (8月:13.1%)

本クロアチア情勢は、クロアチアの政治・経済情勢を中心に各種報道、発表をとりまとめたものです。記載事項については在クロアチア日本大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。